

第5回 昭島市事務事業外部評価委員会

議 事 要 旨

〔日 時〕 平成 24 年 8 月 20 日（木）18：00～20：00

〔場 所〕 昭島市役所 6 階 602・603 会議室

〔出席者〕

1 委員

座間康臣委員長、佐久間榮昭副委員長、出雲明子委員、松本智子委員、村上龍男委員、和田篤彦委員

2 事務局

早川企画部長、佐藤企画政策室長、板野財政課長、柳企画調整担当主査、山崎財政係長、吉野企画調整担当主事

3 傍聴者 5 名

〔配布資料〕

- ・ 第 5 回昭島市事務事業外部評価委員会 次第
- ・ 資料 1 出席職員一覧
- ・ 外部評価シート

〔議事要旨〕

1 外部評価の進め方について

事務局から事務事業外部評価説明シート及び資料一式の内容を説明し、対象事業の説明に入った。

2 外部評価

事業番号 13 中学生海外交流事業

庶務課長より事務事業評価（外部評価）説明シート、事務事業評価（内部評価）シート及び資料に基づき事業の説明を行った後、質疑応答に入った。

《質疑応答》

◆最初はアメリカ、現在はオーストラリアへ、ということで交流先の変更は事務手続き上のものか。【和田委員】

○当初はアメリカに派遣していた。しかし夏休み中のため生徒同士の交流が難しかった。中学生を対象としているので英語圏の実施が望ましく、オーストラリアはその時期に交流が可能だったため行き先を変更した。【庶務課長】

◆定員が 20 名とのことだがその決め方は。【和田委員】

○最初は 7 名の派遣から始まった。18～20 年度は国際フレンドシップ協会のアメリカへの使節団として

の派遣で1人当たり50万円ほどコストがかかったが、今は1人当たり25万円となっている。。多くの中学生を派遣したいが、ホームステイ先の確保も難しく20名以内ということで落ち着いた。【庶務課長】

◆選考基準の透明性・公平性の確保はどのように行っているか。【村上委員】

○作文提出後、面接を実施。面接については校長と事務担当者2名で対応した。やる気、語学のスキル、学校での態度、意欲を選考過程でみている。帰国後に他の生徒へのフィードバックも必要なため、各校2名以上を選出している。【庶務課長】

◆公平性について、落選の理由を問い合わせた場合、答えられるか。【村上委員】

○お問い合わせいただいた場合はお答えする。【庶務課長】

◆参加者の男女比をお答えいただきたい。【松本委員】

○参加者の男女比は男子14名：女子43名、計57名の応募があった。うち派遣生は男子4名：女子16名であった。男子生徒が少ない理由はクラブ活動優先のためと、優秀な女子生徒が多いことから感じる。【庶務課長】

◆昨今の草食系男子が海外へ行き、異文化体験をすることで積極性は出てくるのか。【松本委員】

○はじめは英語を発することを躊躇していた生徒も、それが通じたことで達成感を得られ、自信に繋がるようである。【庶務課長】

◆参加生徒の2年生、3年生の割合は。1年生は対象になっているのか。【出雲委員】

○2年生が15名、3年生が5名である。小学校の英語教育が昨年から開始されたが、まだ時期早尚か。幼さも残っている。受験勉強の関係で3年生の参加者は小数である。【庶務課長】

◆選考の透明性の確保のため、英語検定の取得などを選考の条件に加えるなどの検討は。【出雲委員】

○参考にさせていただく。【庶務課長】

◆滞在先、ホストファミリーによって体験に差が出る。公平性の担保はどのように。【村上委員】

○ホームステイ先を比べることはしないように、生徒に指導している。ホームステイの目的はホストファミリーとコミュニケーションを図ることなのである。それほど差が出ないように学校がある程度選んでいる。【庶務課長】

◆応募の際に事後の報告会があることを生徒たちは知っているのか。【佐久間副委員長】

○派遣前の研修、各校での報告会、青少年フェスティバルの参加の件は知っている。【庶務課長】

◆過去の派遣生が市の行事に参加するなどの要請はあるのか。【佐久間副委員長】

○翌年の派遣生に対し指導を行ってもらっている。【庶務課長】

◆受け入れについての詳細をお聞かせ願いたい。【佐久間副委員長】

○平成22年度の受入れは11名で24年度は10月の実施であるが、12名を予定している。実際に会う前に派遣生同士でインターネットを通じて限られたコンテンツの中で紹介し合うことになっている。【庶務課長】

◆これは意見なのだが、一緒に派遣された生徒同士でサークル活動をしてみてはどうか。幅広い交流を末永く続けてほしい。市が働きかけてみてはどうだろうか。【和田委員】

○同窓会の実施については参考とさせていただく。【庶務課長】

◆参加費の10万円は家庭によっては負担が重いように思われる。【村上委員】

○要綱には事情によっては減免をする規定がある。【庶務課長】

◆ホームステイ先の確保が難しいとのことだが、受け入れ条件を整えば、生徒がいない家庭でも可能ということにすれば確保できる可能性もあるのではないだろうか。【座間委員長】

○中学生の国際交流ということで、通学や学校生活での行動も一緒にしてもらって異文化に暮らす同世代の者とコミュニケーションを図ることも重視しているので、中学生のいる家庭が望ましい。今年度は拝島中学校に通う中学生のいる家庭で対応の予定だが、見つからなければ他校での対応も検討する。

【庶務課長】

◆それでは、時間のこともあるので評価シートの記入をお願いします。【座間委員長】

評価シート記入後、評価発表を行った。

◆以上で終了とする。ありがとうございました。【座間委員長】

事業番号4 勤労商工市民センター管理運営

生活コミュニティ課長より事務事業評価（外部評価）説明シート、事務事業評価（内部評価）シート及び資料に基づき事業の説明を行った後、質疑応答に入った。

《質疑応答》

◆勤労商工市民センターの機能を見ると一般の市立会館と同じなのにここだけ有料の理由をお聞かせ願いたい。【和田委員】

○移管前から有料でご利用いただいていたという経緯がある。一般市民の利用が多いが、有料ということで一定の縛りをかけて、企業が利用しやすいような仕組みをとっている。【生活コミュニティ課長】

◆管理員賃金のウエイトが大きいですが、どのような雇用形態か。平成23年度は何人か。委託契約の仕方については、入札か随契か。【和田委員】

○管理員は常勤の再任用職員、時間外の管理員は8人。1年ごとの随意契約のものもあれば入札で決定されるものもある。【生活コミュニティ課長】

◆この施設は法人、個人すべてを対象としているとのことだが、市民の個人利用は他の施設で対応してもらい、本来の目的である勤労商工に特化する考えはあるのか。【村上委員】

○移管前からの利用者の声も受け入れつつ利用していただいている。施設の目的・性格として、勤労・商工・市民の利用としている。【生活コミュニティ課長】

◆サービスの仕方を工夫すべきではないか。政策として昭島の産業活性化を推進していくという方向が望ましい。【村上委員】

○施設の利用としては会議室の貸出しが多く、勤労目的では勤労市民共済会の事務室としての利用がある。貸館は市への移管前から市民の個人利用が多い。【生活コミュニティ課長】

◆管理運営の範囲について。勤労商工のための場の提供に伴う管理運営のみではなく、中身の運営についても深くかかわるべきなのかどうか。【和田委員】

○勤労者のためのそういった視点に立った運営も必要である。【生活コミュニティ課長】

◆産業の活性化のための利用を優先し、残りを市民にという考えが望ましいと思う。【座間委員長】

◆事業者の利用に特化することで土日や夜間の利用が必要なくなるのでは。【松本委員】

○企業の組合などの利用もあり、そういった場合は夜間の貸出しも必要である。【生活コミュニティ課長】

◆所管が生活コミュニティ課だが、勤労、商工のための利用ということなら産業活性化室の所管が望ま

しいのではないか。【出雲委員】

○もともと、所管は生活コミュニティ課勤労消費者係であり、組織改正を経て現状に至っている。目的に応じた利用は全体の3割程度と見込まれ、その他は市民の個人利用や団体利用が多い。【生活コミュニティ課長】

◆消費者ルームの用途についてお聞かせ願いたい。【佐久間委員】

○消費者活動をしているグループに利用していただいている。【生活コミュニティ課長】

◆会議室の貸出状況を見ると、市立会館の利用とあまり変わらないように思える。企業が会議室を持つ代わりに、センターを利用してコストダウンを図っているという利用はあるか。都から移管された他市の状況も教えていただきたい。【佐久間委員】

○組合活動や、大勢の従業員への研修などについてはご利用いただいている。立川市、五日市、府中市は現在更地である。羽村市は企業優先で活用されている。八王子市と国分寺市は東京都の労政会館として現在も運営されている。【生活コミュニティ課長】

◆市が負担しているのは昭島市と羽村市だけということか。【佐久間委員】

◆都から移管の建物ありきで非効率になってきている。抜本的見直しをしていただきたい。老朽化も進み先々のことを考えると改廃についての検討も必要となってくるかもしれない。【座間委員長】

◆駐車場の借上げ代96万円については必要か。【佐久間委員】

○近隣の駐車場を借りているが、敷地内だけでは足りないため必要である。【生活コミュニティ課長】

◆意見も出そろったので評価シートの記入をお願いします。【座間委員長】

評価シート記入後、連番で評価発表。

◆以上で終了とする。ありがとうございました。【座間委員長】

3 その他

事務局より次回、第6回外部評価委員会の日程について連絡があった。

◆全体を通じて委員さんから何か。それでは次回9月1日10時からの開催とさせていただく。本日はありがとうございました。【座間委員長】

～閉会～